

県河川（一級河川）許可申請書チェックシート

- 河川区域・保全区域の確認（岐阜県土木事務所 施設管理課にて確認）
→河川区域界は土木事務所で確認、河川保全区域界は河川区域界より 28 m

必要書類（各3部）

- 許可申請書（河川法第24条、26条、55条の記入）
 - ・河川区域内→河川法第24、26、55条
 - ・保全区域内→河川法第55条
- 位置図（1万分の1から5万分の1程度）（→申請地を赤で図示）
- 見取図（2500分の1程度）（→申請地、施工場所を赤で図示）
- 字絵図（1枚は原本、他2枚はコピー）
 - ・河川区域界（赤実線）、保全区域界（赤破線）図示
 - ・法務局備え付けのものを添付
- 土地登記簿謄本（1枚は原本、他2枚はコピー）
→作業面積に対応する土地全てにおいての謄本を添付
- 平面図 →河川及び申請地を含んだ図面を、実測の上作成
河川区域界（赤実線）、河川保全区域界（赤破線）図示
- 横断図 ・河川及び敷地の横断図を実測の上作成
 - ・河川区域界（赤実線）、保全区域界（赤破線）図示
- 作業面積丈量図→河川区域と保全区域に分けて作業面積を丈量
1枚目の「8作業面積」に記入
- 構造図（→河川区域界、保全区域界図示）
- 製品図 ・上水→ポリエチレン管、量水器ボックス
 - ・下水→ビニール管、取付枘の製品図を添付
- 市道掘削申請書（正）の写し
- 工事設計書
- 現況写真（→着工前の写真を3方向から撮り、掘削箇所を赤で記入）

1枚目「許可申請書」の書き方

→河川法第24条、第26条、第55条のうち必要な分を記入。

1. 河川の名称 一級河川 ～川

2. 目的 上下水道引込工事

3. 場所 岐阜市～ 地先

(→作業面積に該当する地番を全て記入してください。)

4. 工作物の名称又は種類

上水引込管 PEPφ20 量水器ボックスφ20

下水引込管 VUφ125 取付枡φ230.4

5. 工作物の構造又は能力

ビニール管VUφ125 $L = \square\text{m}(\text{官}) + \square\text{m}(\text{民}) = \square\text{m}$ (→官地と民地に分けて。)

取付枡φ230.4 $L : 419\text{mm} \times W : 358\text{mm} \times H : 338\text{mm}$

ポリエチレン管PEPφ20 $L : \square\text{m}(\text{官}) + \square\text{m}(\text{民}) = \square\text{m}$

量水器ボックス $L : 538\text{mm} \times W : 334.5\text{mm} \times H : 225\text{mm}$

(→取付枡、量水器ボックスの数量は、製品図から数量を読みとって記入。)

6. 工事の施工方法

機械掘削 別紙図面の通り

7. 工期

許可の日から 令和○年 ○月 ○日 まで (→市道の申請書と同じで良い)

8. 作業面積 (→作業面積丈量図で計算した値)

(→第24・26条の申請については、河川区域と保全区域を分けて記入)

民地 $1.2 \times 1.0 = 1.20 \text{ m}^2$ (→民地と官地に分けて。)

官地 $0.6 \times 5.9 = 3.54 \text{ m}^2$

$1.20 \text{ m}^2 + 3.54 \text{ m}^2 = 4.74 \text{ m}^2$ (→民地+官地)

9. 占用面積

上水PEPφ20 $5.9\text{m} \times 0.027\text{m} = 0.1593 \text{ m}^2$ (→市道の申請書と同じにする。)

下水VUφ125 $2.4\text{m} \times 0.14\text{m} = 0.336 \text{ m}^2$

10. 占用期間

許可の日から令和6年3月31日まで (→期間は、5年後の3月31日まで)

※ 24条含まないときは1～8

24条含むときは1～10